

大学図書館問題研究会 京都

URL : <http://www07.u-page.so-net.ne.jp/r7/dtkk/index.htm>

〒 621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条1-1 京都学園大学総合研究所事務室 大館和郎気付
(TEL) 0771-29-2392 (FAX) 0771-29-2388

NEWS

司馬遼太郎記念館見学会のご案内

5月25日(土)に司馬遼太郎記念館の見学会を行います。当日は記念館のスタッフの方に説明をしていただきます。皆様お誘いあわせのうえ、奮ってご参加下さい。

司馬遼太郎が1996年2月12日に亡くなって、5年たち、八千人を超える人々、企業、団体からの募金によって、司馬遼太郎記念館が2001年11月1日にオープンしました。記念館は東大阪市の住宅街の一角にあり、来館者は生前の司馬遼太郎の自宅と庭を生かした散歩道にみちびかれて、安藤忠雄設計の記念館へたどり着きます。この記念館は「将来ここを資料館にしたらいい」と言った司馬遼太郎の遺志を実現させたものです。見どころは、庭からガラス戸越しに見ることができる執筆当時そのままの書斎、地上一階から地上二階まで、高さ十一メートルの吹き抜け空間の壁面にしつらえた書棚に二万余冊の書籍がびっしりおさめられた大書架です。またホールでは司馬遼太郎に関する15分程度の映像が上映されます。館のコンセプトでもあるのですが、見学された方が司馬作品との対話を通じてそれぞれ何かを感じとってもらえればと思います。

集合時間：2002年5月25日(土) 15:00

集合場所：記念館内1階受付前

(入り口で自動販売機で入場券を購入のうえ、雑木林風の散歩道を通り、ガラス壁の回廊を抜けて記念館内に入り、ロビー付近でお待ち下さい。)

所在地：〒577-0803 大阪府東大阪市下小阪3丁目11番18号

電話番号：06-6726-3860

上記「見学会」の申し込み先や交通機関などについては、本号4ページをご覧ください。



目次	司馬遼太郎記念館見学会のご案内……1頁
	立命館大学におけるコアデータベース講習会……2頁
	第9回京都支部委員会報告……3頁
	司馬遼太郎記念館見学会……4頁

ご意見・ご要望、投稿はメール、又はFAXで編集気付 (dkamr302@kyoto.zaq.ne.jp) 田北まで

立命館大学におけるコアデータベース講習会



井上雅人

はじめに

立命館大学図書館ではこれまでさまざまなレベルの利用教育を実施してきました。春の新入生ガイダンスに始まり、OPAC講習会、教員からの申込みによる高回生ゼミ講習会、春と秋のコアデータベース講習会など、年間を通じ学生や教員に対して定着しています。

本来ならばこれら利用教育の全体像をご紹介したいのですが、ここでは衣笠図書館で実施されているコアデータベース講習会について報告したいと思います。

データベース講習会の概要

立命館大学では各学部の教育研究活動を支援していくため、ネットワーク経由で提供する電子メディアを『コアデータベース』と呼んでおり、以下に掲げる11のデータベースを指します。

- ・日経テレコン 2 1
- ・朝日 DNA
- ・OCLC FirstSearch
- ・LEXIS-NEXIS Academic Universe
- ・Lexis.com
- ・DialogSelect
- ・Proquest
- ・Elsevier Science Direct Onsite/Online
- ・洋雑誌コンテンツデータベース (Swets Blackwel)
- ・和書コンテンツデータベース
- ・出版情報データベース

これらのデータベース、今ではかなりの大学で導入されていますが、本学の導入当時はまだそれほど普及していたわけではなく、ユニークな試みとして注目されていました。これらのデータベースの利用を促進するため、2年ほど前から本格的な講習会を開始しました。

私は2001年から担当しましたので、主に昨年の衣笠図書館の経験をご紹介します。まず昨年6月実施した講習会は日経テレコン、OCLC FirstSearch・Proquest、LEXIS-NEXIS Academic Universe、Lexis.com、DialogSelect、ScienceDirect に法情報データベースとして判例大系と法律判例文献情報を加えた8つのデータベースについて実施しました。

講師は提供会社でお願いし、情報演習室を使って1講座40名程度の規模でそれぞれ2コマおこないました。この時の講習会で最も特徴的なことは広報手段として館内での案内ビラ、ポスターとホームページに加え、学生、教職員全員に対しメール配信をおこなったことです。これによって受講者の数は飛躍的に増加し、各講座40名程度の受講者を迎えることができました。

講習会を開催するたびにアンケートをとっていますが、『もっと広報してほしい』という意見が必ずでてきます。このメールによる広報はとても貴重な経験でした。もっとも教員からクレームもありましたが、こうした経験を生かしながら11月にもデータベース講習会を実施しました。

秋の講習会での特徴点は『データベース超入門』という講座を増やしたこと、講師として『超入門』や『法情報』、OCLC FirstSearch/ProQuest などについては図書館職員やレファレンスライブラリアン(サービス部門で参考調査を担当していただいている外部の職員)が

担当したことです。

特に『データベース超入門』は好評で、内容はデータベースの基礎と実習でしたが、こうした分野に対する利用者の強い要望を知ることができました。さらに日経テレコンを利用した「就職支援講座」や学部教授会に出かけて行って、『データベースの出前講習会』も行いました。

12月には法学部教員の協力を得ながら、レクシスジャパン社の後援で「英米法情報のための Lexis 講座」を2日間の日程で開催しました。これはライブラリアン向けの講座で東京では中央大学が実績を持っています。関西では関西大学や同志社大学でも開催されていますが、本学では初めての取り組みでした。

広報の関連ではホームページからの申込みを開始しました。このように秋の講習会では春以上に力を集中して取り組んだのですが、受講者はかなり低調でした。詳しい分析は十分できていませんが、学生の年間の学習スタイルに変化が起きているような気がしてなりません。

さらに重要な問題として、ネットワークのレスポンスがあります。もともと利用者数が多すぎるのかもしれませんが、データベースによっては同時アクセスに耐えられず、実習ができないというものがあり、受講者の間にかんがりの不満を残しました。このように今後さらに講習会を発展させていく上で克服すべき課題もたくさんありますが、とにかく学内ではデータベース講習会は確実に定着してきています。

『大学図書館におけるレファレンス・サービスとデータベース』（『情報の科学と技術』の52巻3号、小山論文）において、大学図書館実態調査委結果から「図書館の利用法あるいは二次資料をはじめとするレファレンスブックやデータベースの利用法を案内する利用指導の占める割合が増加している」とし、図書館員の役割として図書館利用教育の充実を強調されました。

本学でのレファレンスカウンターでも同様の傾向が現れていますが、こういった方向は定着してきていると思われ、引き続きデータベース講習会の取り組みは充実させていく必要があると思います。

新学期を迎え、本学では新入生ガイダンスがあわただしく実施されていますが、春のデータベース講習会も例年より早く開催されます。今のところ申込状況は鈍いようですが、相変わらず『データベース超入門』は好調です。

いのうえ・まさと（立命館大学総合情報センター・衣笠メディアサービス課）

第7回京都支部委員会

日 時：2002年4月9日（火）19:00 - 20:10
場 所：京都大学附属図書館3Fスタッフルラウンジ
出 席：大館、金森、呑海、吉田

報告事項

1. 全国委員会
 - ・全国大会(千葉)について
 - ・日程は8月24日(土)から8月26日(月)まで
 - ・3日目に再度全員が集まって全体会を行う
2. 会員情報
 - ・京都支部会員 92名→91名
3. 財政情報
 - ・会費納入者 57名



審議事項

1. ワンデイセミナーについて
 - 1) テーマ 電子ジャーナル：提供と利用（仮称）
 - 2) 講師：未定
 - 3) 日時：2002年7月6日（土）13:30-16:40
 - 4) スケジュール
 - 13:30-13:40 開会の挨拶等(10分)
 - 13:40-14:30 講演1(50分)
 - 14:30-14:40 休憩(10分)

14:40-15:30 講演 2(50分)
15:30-15:40 休憩(10分)
15:40-16:30 パネルディスカッション あるいは質疑応答(50分)
16:30-16:40 閉会の挨拶等(10分)
16:40-16:55 後片付け(15分)
17:30-20:00 懇親会

- 5) 場所：京都アスニー第4研修室
2. 見学会について
・司馬遼太郎記念館見学を5月25日(土)午後に行う。
3. 支部報について
1) 4月号について
立命館大学コアデータベース講習会について(立命館大学から)
3) 5月号について
数珠つなぎ(大阪市立大学から、京都大学から) ワンデイセミナー案内
次回支部委員会 5月14日(火)

司馬遼太郎記念館見学会

交通案内：(駐車場はありませんので、車でのご来館はご遠慮下さい。)

近鉄奈良線八戸ノ里駅下車徒歩8分、
近鉄奈良線河内小阪駅下車徒歩12分

- 新大阪から 約40分 地下鉄御堂筋線新大阪→なんば→近鉄奈良線難波→
・京都から 約1時間 近鉄京都線京都→大和西大寺→近鉄奈良線→
・奈良から 約1時間 近鉄奈良線奈良→
・大阪(梅田)から 約35分 地下鉄御堂筋線梅田→なんば→近鉄奈良線難波→
環状線大阪→鶴橋→近鉄奈良線→
・難波から 約25分 なんば→近鉄奈良線難波→
下記のホームページもご覧下さい。

<http://www.shibazaidan.or.jp/kinenkan/raikan.html>

入館料 大人 500円



懇親会 時間：17:00 - 19:00

会場：道頓堀 「九志焼亭」

大阪市中央区宗右衛門町7-19 ジュリハウスビル3.4FTEL：06-6213-8540

(最寄り駅) 近鉄「なんば」駅、地下鉄「なんば」駅

会費：4000円程度

申込方法：はがき、電話、FAX、Eメール

申込先：京都学園大学図書館 大館まで

〒621-8555 京都府亀岡市曾我部町南条大谷1-1

TEL：0771-29-2292 FAX：0771-29-2299

E-mail：odate@kyotogakuen.ac.jp

(懇親会参加の方は5月23日までにご連絡下さい。)